

1 返り点(応用)その1 <書き下し文・意味>

- (1) **いっけんにしかず** 百聞は一見に如かず (百回聞くことは一回見ることに及ばない)
- (2) **ひとをあげず** 君子は言を以て人を挙げず (君子は言葉だけで人を用いたりしない)
- (3) **そのけんみづにおつ** 其の剣水に墮つ (その剣が水に落ちた)
- (4) **つけざるべからず** 語げざるべからず (告げなくてはならない)
- (5) **じんじをつくして** 人事を尽くして天命を待つ (人間の能力でできる限りのことをしたので、その結果は天の意思に任せる)

2 返り点(応用)その2

- (6) **びでんをかはず** 児孫の為に美田を買はず (子孫たちのために大きな財産を残さない)
- (7) **よういくするにあり** 学問の道は、身体を鍛錬し精神を養育するに在り (学問の道は、身体を鍛え、精神を育てることである)
- (8) **つかひするをおくる** 元二の安西に使ひするを送る (元二が安西に使者として旅立つのを見送る)
- (9) **せいをこうしにとふ** 王政を孔子に問ふ (王は政治について孔子に尋ねた)
- (10) **いうこくよりしやうず** 雲は幽谷より生ず (雲は奥深い谷から生ずる)

<読み方のポイント>

レ点と一二点の組み合わせ。二点で返った文字から、さらにレ点で返って読む。

一レ点の復習。まずレ点に従い、次に一点に従って読むことを示す。A[二]BC[一レ]Dの読み順は、BDCAとなる。

一二点の復習。一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

レ点の応用。レ点を重ねた場合は、一番下の字から一字ずつ上に返って読む。A[レ]B[レ]Cの読み順は、CBAとなる。

一二点の復習。一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

上下点の応用。中点がある場合は、上点・中点・下点の順に返って読む。A[下]B[二]CD[一]E[中]FG[上]の読み順は、CDBFGEAとなる。

上下点の応用。中点がある場合は、上点・中点・下点の順に返って読む。A[下]B[二]CD[一]E[中]FG[上]の読み順は、CDBFGEAとなる。

一二点の応用。三点がある場合は、一点・二点・三点の順に返って読む。A[三]BC[二]DE[一]の読み順は、BDECAとなる。

一二点の復習。一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

一二点の復習。一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。



【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

助動詞「けり」に接続する用言の活用形はどれ？
(A) 未然形 (B) 連用形 (C) 終止形 (D) 連体形